

和歌山県中小企業振興条例第14条第2項の規定に基づき、令和6年度における中小企業の振興に関する施策の実施状況について、次のとおり報告いたします。

1 中小企業の振興に対する考え方

令和6年度の日本経済は緩やかな回復を続け、名目GDPは初めて600兆円を超え、設備投資についても平成3年度以来の100兆円を突破した。また、33年ぶりの高水準の賃上げが実現し個人消費の下支えに寄与するなど、賃金と物価の好循環が実現しつつあったが、米国の関税措置の影響によって景気の先行きは不透明感がみられるようになった。また、世界的な物価上昇による原材料・資材価格の高騰や円安の影響、賃上げに伴う人件費増加、人材獲得競争が激化する中での働き手の確保、生産性の向上など、取り組むべき課題も残っており、和歌山県においても同様である。

地域経済と雇用を守っていくためには、県内企業の大多数を占め、地域経済の主たる担い手である中小企業の経済活動を活性化し、本県経済の持続的な成長へと繋げていくことが重要である。

県においては、変化する社会に適応できるようにするため、県内中小企業者のデジタルトランスフォーメーション（DX）を支援したほか、脱炭素社会の実現に向け、脱炭素経営相談窓口の設置や一部事業費の補助を行った。また、新たな産業の創出のための起業支援や企業誘致を進めてきたほか、事業活動を担う人材の確保についても引き続き取り組んだ。

令和7年度においては、新たに県産品の販売促進及びブランド化を図るための県産品推奨制度「和歌山一番星アワード」の実施や、社会課題の解決を図るための起業や新事業開発を支援するとともに、引き続き県内事業者のDXや脱炭素化についても支援を実施していく。また、人材の育成及び確保を図るため、採用ブランド構築支援や求職者に向けたリスキリングセミナー等の取り組みを行うとともに、外国人の県内企業への就職と定着を図るための受入れ体制の整備や、高校生の県内就職及びUIターン就職の促進についても引き続き進めていく。

2 具体的な施策の実施状況について

（1）経営革新の促進及び経営基盤の強化

①わかやまデジタル革命推進プロジェクト（73,354千円）

変化する社会に適応できるよう、県内産業のあらゆる分野においてデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するため、セミナーやデジタル経営診断、各種講習等の開催、デジタル技術を導入するための専門家による伴走支援等を実施。

○デジタル経営推進

デジタル経営の実践状況や取り組むべき指針等を提示する診断ツールを活用したデジタル経営診断を実施するとともに、デジタルマーケティングやデジタル技術を用いた製造現場の改善活動に関する知識やスキルを習得するための講習を開催

<令和6年度実績>

デジタル経営診断実績：1,226事業者

デジタルマーケティング講習

受講期間 第1回 令和6年7月1日～同年11月1日

第2回 令和6年11月4日～令和7年3月7日

現場カイゼン講習

実施期間 令和6年7月4日～令和7年2月21日

○デジタル講習

県内事業者のデジタル化・DXに関する機運醸成のためのセミナーを開催するとともに、関心をもった事業者に対する相談体制を構築。また、各事業者がデジタル技術に関する知識を習得するため、入門レベル～実用レベルの各種講習を開催

<令和6年度実績>

セミナーの開催回数：5回

講習会の開催回数：9回

相談件数：301件

○DXチャレンジサポートプログラム

DXに対し意欲のある県内事業者を対象に、高度専門人材による長期的な伴走支援を実施。伴走支援によりDXの成功事例を創出して情報発信

<令和6年度実績>

伴走支援件数：4件

○デジタル専門家派遣

デジタル技術の知見に長けた支援チームを形成して県内企業に派遣し、課題の見える化及び課題の解決策を提示することにより、県内企業におけるデジタル技術の導入を促進

<令和6年度実績>

支援件数：10件

②脱炭素経営モデル推進支援（６，４８９千円）

県内中小企業等の脱炭素化を促進すべく、脱炭素経営に向けた取組を業種や規模によって異なるニーズに合わせてオーダーメイド型の支援を実施。

○脱炭素経営相談窓口

ニーズに応じた支援機関等の選定支援・支援策を紹介する窓口を設置

<令和６年度実績>

設置場所：ＮＰＯ法人わかやま環境ネットワーク

（和歌山県地球温暖化防止活動推進センター）

相談方法：対面又はオンライン

相談件数：６件

○和歌山県脱炭素経営に向けた計画策定支援事業費補助金

県内企業が行うＣＯ２排出量の算定・省エネ診断の実施から、ＣＯ２排出量削減目標を盛り込んだ計画等の策定に至るまでに要する経費の一部を補助

・対象事業費の一部を補助（補助率：１／２以内）

・補助する額：最大１００万円／件

<令和６年度実績>

交付確定件数：６件

③デザイン経営価値共創支援（１７,３６０千円）

デザイン経営の手法を用いて、県内中小企業の企業価値・商品価値の向上を支援。

○キックオフイベントの開催

デザイン経営を実行することが企業の価値向上に繋がることを学ぶ場を提供
＜令和６年度実績＞

開 催 日：令和６年６月２１日

開催場所：和歌山城ホール／オンライン

参 加 者：１３６名

○セミナーの開催

デザイン経営の手法を学ぶ場を提供

＜令和６年度実績＞

開 催 日：令和６年７月１日、２日、４日、１２日、１９日

開催場所 和歌山城ホール／オンライン

参 加 者：８３名

○デザイナーとのマッチング

価値を具現化するために必要なデザイナーとのマッチングの場を提供

＜令和６年度実績＞

開 催 日：令和６年７月２９日

開催場所 和歌山県民文化会館

参 加 者：事業者 ９社

デザイナー ９人

ビジネスパーソン ７人

○ワークショップの開催

デザイナーと協働したデザイン経営を自社に導入するための計画づくりの実施

＜令和６年度実績＞

ワークショップ開催回数：９回

参加事業者数：９社

○ハンズオン支援

ハイレベルなアドバイザーによるフォローアップ、個別支援・プロデュースの実施

＜令和６年度実績＞

支 援 期 間：令和６年１１月～令和７年３月

支援事業者：８社

④中小企業支援センター（２３，９４０千円）

（公財）わかやま産業振興財団内に産学官の連携による総合的な中小企業支援体制を整備し、新事業創出及び経営革新を支援。

○専門家設置

企業の創業・経営を支援するインキュベーションマネージャーを配置

＜令和６年度実績＞

起業コーディネーター：１名

○専門家派遣

経営革新、新商品開発、新分野進出等を目指す企業に対し、専門家を派遣

＜令和６年度実績＞

専門家派遣件数：１４４件

○取引あっせん

- ・中小企業の経営安定と振興を図るため、受発注情報の収集や取引のあっせんを実施

- ・県内企業と県外企業との商談の場を提供することにより、中小企業等の取引拡大を支援

＜令和６年度実績＞

取引あっせん件数：７４件

商談会の開催回数：２回

⑤小規模事業経営支援（１，２９７，９０６千円）

小規模事業者の振興と経営の安定を図るため、商工会、商工会議所及び県商工会連合会に経営指導員等を配置し、経営改善普及事業等を実施。

⑥中小企業団体支援（１０６，８０６千円）

県中小企業団体中央会に指導員等を配置し、協同組合等の組織化促進指導、人材養成、情報化、販路開拓等を推進。

（２）製品開発及び販路開拓の支援

①e コマース対応型販売支援（１，４４３千円）

拡大するEC市場での販売促進を図るため、大手通販サイトとのビジネスマッチングやライブコマースでの販売を支援。

○大手通販サイトとのビジネスマッチング（商談会）の開催

＜令和６年度実績＞

実施日：令和６年１１月８日

商談参加：食品１０社 非食品１１社 計 ２１社

○ライブコマース

＜令和６年度実績＞

実施日：令和６年１２月１１日

取扱商品数：６社２０商品

視聴者数：１１，１３９人

②和歌山産品販促支援（７６，６２５千円）

県内企業が持つ商品力や技術力を積極的に売り出すために行う国内外の著名な展示会への集団出展等の販促活動を支援。

○海外販売戦略

- ・海外へ向けたビジネス展開支援
- ・業界・出展地域を絞った著名な海外展示会への集団出展支援
- ・ラグジュアリー市場を対象とした販路開拓支援

＜令和６年度実績＞

タイへのビジネスミッション：８社

海外展示会個別出展支援事業者数：５社

ラグジュアリー市場販路開拓支援：２社

海外ビジネスアカデミー開催：４社

海外ディストリビューター・バイヤーとの商談会開催：１７社

○国内販売戦略

- ・展示会・商談会を見据えた商談効果アップ等を支援
- ・国内の専門展示会への集団・個別出展支援
- ・商談会の開催

＜令和６年度実績＞

インスタグラム活用支援事業者数：６社

出展効果向上支援事業者数：１３社

国内展示会集団出展支援事業者数：３７社

国内展示会個別出展支援事業者数：２０社

産品商談会開催日：令和６年１１月２１日（アバローム紀の国）

③わかやま中小企業元気ファンド（５７，０００千円程度※）

※運用益及び県補助金を含む

中小企業者等が地域資源を活用して行う新商品・新サービスの開発、販路開拓等を支援。

○地域資源活用分野

「地域資源（農林水産物、産地の技術、観光資源）」を活用した新商品・新サービスの開発、販路開拓等事業化を支援し、新「わかやまブランド」を創出

・対象事業費の一部を補助（補助率：２／３以内）

・補助する額：最大６００万円／件

<令和６年度実績>

交付確定件数：９件

④わかやま農商工連携ファンド（５７，０００千円程度※）

※わかやま中小企業元気ファンドと一体運用

農林漁業者・中小企業者等との連携を活かした新商品・新サービスの開発を支援。

○農商工連携分野

農林漁業者と中小企業者等が連携（農商工連携）し、それぞれの経営資源（技術・知識・ノウハウ等）を有効活用して行う新商品・サービスの開発、販路開拓等を支援し、「わかやまブランド」「新たな産業」を創出

・対象事業費の一部を補助（補助率：２／３以内）

・補助する額：最大３００万円／件

<令和６年度実績>

交付確定件数：３件

⑤わかやま地域活性化雇用創造プロジェクト（24, 233千円）

県内産業の活性化、雇用環境の改善、人材育成・確保を支援することにより、安定的で良質な雇用の場の拡大、新たな雇用を創出。

○人材育成推進事業

デジタル人材の基礎となる知識習得（高等学校「情報教科」履修程度）研修を開催

<令和6年度実績>

研修会の開催回数：10回、受講者数：140人

○正規就職支援事業

正規従業者としての就業経験が少ない人を対象にスキルアップ研修を実施

<令和6年度実績>

研修会の開催回数：5回、受講者数：21人

○マッチング支援事業

県外就職フェアにおける情報発信やオンライン合同企業説明会を開催し、県外在住者の県内就職を促進

<令和6年度実績>

- ・県外転職フェアへの出展回数：4回（東京2回、大阪1回、名古屋1回）
- ・本県出展ブースへの来場者数：146人
- ・オンライン合同企業説明会の開催回数：1回（連続した2日間）
- ・オンライン企業説明会の参加者数：企業26社、求職者：50人

⑥先駆的産業技術研究開発支援（155, 825千円）

県内企業等が有するシーズをもとに先端的産業分野で全国や海外に進出する意欲的な研究開発や実用化に向けた実証実験を支援。

○県内企業が、市場に投入することを前提とした技術を確立するための研究開発、試作品の評価等に対して支援

- ・対象事業費の一部を補助（補助率：2／3以内）
- ・補助する額：最大2,000万円／件
- ・補助対象期間：最長3年

<令和6年度実績>

交付確定件数：26件

⑦優良県産品（プレミアム和歌山）振興（２８，６７７千円）

県産品の販売促進及びブランド化を図るため、優良県産品（プレミアム和歌山）の推奨を行うとともに、首都圏等でのＰＲ活動、販路開拓支援やＳＮＳ活用による情報発信力を強化。

○ＰＲ活動（イベントの開催）

＜令和６年度実績＞

実施日：令和６年１１月２８日

場 所：ホテル椿山荘東京

来場者：５６名

○展示会への集団出展

＜令和６年度実績＞

GOOD LIFE フェア

期 間：令和６年１０月２５日～２７日

場 所：東京ビッグサイト

出展者：１０者

インバウンド向けグッズＥＸＰＯ

期 間：令和７年１月１５日～１７日

場 所：東京ビッグサイト

出展者：５者

⑧わかやま産品魅力再発見（６，６５０千円）

県産品のブランド力向上と販路拡大のため、商品のブラッシュアップ、オンラインギフトショップでの販売及びプロモーションを実施。

＜令和６年度実績＞

採択事業者数：８社（食品４社、非食品４社）

⑨ジェトロ和歌山貿易情報センター運営（１６，０００千円）

県内企業の海外ビジネス展開を支援するため、日本貿易振興機構（ジェトロ）の和歌山貿易情報センターの運営に係る経費の一部を負担。

⑩中小企業支援センター（２３，９４０千円）＜再掲＞

⑪中小企業団体支援（１０６，８０６千円）＜再掲＞

（３）創業及び新たな事業の創出の促進

①成長志向創業者支援（２０，０００千円）

成長を志向する経営者が成長できる環境を構築し、そこで支援を受けた起業家が次の起業家を育成するという好循環の創出を目的として、「起業家が起業家を生み育てる」をコンセプトとした新たな創業支援のプラットフォームを運営。

○メンバーラーニング

上場起業家等を講師に招き、視座の高い勉強会を実施

＜令和６年度実績＞

勉強会の開催回数：１１回

○アクセラレーションプログラム

＜令和６年度実績＞

開催時期：令和６年１０月～令和７年３月

参加者数：５人

②スタートアップオフィス（１５，００７千円）

県内の起業を促進するため、創業準備から起業、自立発展までの各段階における支援としてインキュベーションオフィスを提供。

○設置施設

・わかやまビジネススクエア【和歌山市】（１月末時点で終了）

・県立情報交流センターＳＯＨＯブース【田辺市】

＜令和６年度実績＞

入居事業者数：６社

旅行ツアー事業者、インターネット関連事業者及び梅干し製造業など、多様な業種の事業者が入居

③地域課題解決型起業支援（72,745千円）

地域課題解決を目的として起業する者に対して、起業に要する資金の支援や起業に必要な知識やノウハウ等を学ぶセミナー開催等の伴走支援とともに、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングによる資金調達を支援。

○わかやま地域課題解決型起業支援補助金

地域課題解決型のビジネスをデジタル技術を活用して起業（事業承継・第二創業）する者に対し、必要な資金（人件費、設備費等）を補助

（一般）・対象事業費の一部を補助（補助率：1／2以内）

・補助する額：最大200万円／件

（移住者※）・対象事業費の一部を補助（補助率：3／4以内）

・補助する額：最大300万円／件

※県が指定する移住推進市町村（地域）への県外からの移住者

<令和6年度実績>

交付確定件数：30件

移住支援金：1件

○わかやま創業スクール

県内で新たに起業を予定している者に対し、起業に必要な知識やノウハウ等を学ぶワークショップ主体のセミナーを開催

<令和6年度実績>

受講者数（夏）：21人（内19人修了）

受講者数（冬）：17人（内15人修了）

○和歌山県ふるさと納税型クラウドファンディング事業

わかやま地域課題解決型起業支援補助金の採択者のうち希望する者に対して、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングによる資金調達を支援

<令和6年度実績>

3プロジェクトが目標金額達成

寄付総額：4,400千円（※目標金額：1,800千円）

④わかやまデジタル革命推進プロジェクト（73,354千円）<再掲>

⑤脱炭素経営モデル推進支援（6,489千円）<再掲>

⑥中小企業支援センター（23,940千円）<再掲>

⑦小規模事業経営支援（1,297,906千円）<再掲>

⑧わかやま地域活性化雇用創造プロジェクト（24,233千円）<再掲>

(4) 事業活動を担う人材の育成及び確保

①外国人材受入促進（25, 272千円）

外国人材の県内企業への就職率・定着率の向上を図るため、外国人材が安定的に雇用される受入れ体制（プラットフォーム）を構築。

○外国人材が安心して働ける「わかやま企業」助成事業補助金

就業規則や業務マニュアルの多言語化など、外国人材の受入れ体制の整備を進める県内事業者の取組を支援するとともに、インターンシップ等の呼び込みなど、外国人材の受入れを進める県内事業者の取組も支援

- ・対象事業費の一部を補助（補助率1／3以内）※初めて外国人材を受入れる場合には1／2以内
- ・補助する額：最大5万円 ※外国人材の関与する人数により10万円

<令和6年度実績>

交付確定件数：3件

○海外ジョブフェア

海外人材とのマッチングを促進するとともに、定期的に海外人材を呼び込む基盤づくりを支援

<令和6年度実績>

日時：11月8日、9日

場所：ハノイ市内ホテル

参加者数：8日：214人、9日：202人

参加大学：ベトナム電力大学、ダイナム大学、ベトナム交通運輸大学など

参加企業数：4社

選考状況：内定者5名

○WAKAYAMA外国人材雇用サポートデスク【外国人材雇用のワンストップ窓口】

（企業向け支援）

- ・外国人材の採用・雇用に関する相談対応・手続支援
- ・外国人材の雇用に関するセミナー等の開催
- ・成功報酬型マッチング支援（県と人材紹介会社との連携協定）

<令和6年度実績>

- ・相談件数：65案件

主な相談内容：就労可能な外国人の在留資格、受入れや就労資格の切り替えにあたって必要な費用や手続きなど

- ・企業向けセミナー、オンライン合同企業説明会、外国人材受入企業との意見交換会などの各種イベントを実施。

(外国人向け支援)

- ・就職活動に関する相談対応・手続支援
- ・書類添削・面接トレーニング
- ・就職支援セミナー・合同企業説明会の開催

<令和6年度実績>

- ・相談件数：61案件

主な相談内容：履歴書の添削や面接練習、和歌山県での求人情報など

○マッチング支援

マッチングシステム及びコンシェルジュによるマッチング支援

<令和6年度実績>

- ・マッチングシステム登録企業数：8社
- ・外国人材と県内企業のマッチングに向けたフォローアップを実施。

②和歌山戦略経営塾（5,886千円）

将来の和歌山県経済を牽引する経営者等の育成を図るため、経済・社会情勢を学び、全国規模の人的ネットワークを形成し、新たにビジネスを展開していく能力を養成する経営塾を開講。

<令和6年度実績>

○和歌山戦略経営塾の概要

- ・対象者：県内企業の経営者や後継者、経営幹部
- ・定員：15人程度
- ・受講料：60,000円（年会費）
- ・塾長：寺島実郎氏（多摩大学学長）
- ・副塾長：西村訓弘氏（三重大学大学院地域イノベーション学研究科教授）
- ・内容：各界で活躍されている有識者及び経営者による講義
副塾長及び各回の講師を交えたグループディスカッション・総合討論
第3回は全国戦略経営塾における全国気鋭の経営者との交流

- ・開催回数：年6回

<令和6年度実績>

塾生数：16人

開催回数：6回

③プロ人材活用（４５，６１７千円）

県内企業の成長の実現に必要な人材採用を促進するため、「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、企業の中核人材導入を支援。

○プロフェッショナル人材戦略拠点

新事業の実施や販路開拓等積極的な「攻めの経営」への転換を後押しするため、経営課題の把握や必要なプロフェッショナル人材ニーズを明確化し、兼業・副業を含む人材採用のサポート・フォローアップ等により県内中小企業を支援

○成長企業支援補助金

プロフェッショナル人材導入により事業の成長・拡大・発展を図る県内中小企業に対して人材導入に係る経費を補助

- ・対象事業費の一部を補助（補助率：２／３以内）
- ・補助する額：最大１００万円／社

<令和６年度実績>

交付確定件数：６件

○副業・兼業人材活用補助金

県外の副業・兼業人材が県外居住地から就業地まで移動する際の旅費を補助

- ・対象事業費の一部を補助（補助率：１／２以内）
- ・補助する額：最大１５万円／社

<令和６年度実績>

交付確定件数：４件

④産業を支える人づくりプロジェクト（２４，７３１千円）

企業と高校が連携した産業人材の育成と、応募前企業ガイダンスや各学校単位での企業説明会の開催による高校生の県内への就職を促進。

○高校生の県内就職を促進

- ・企業と連携した人材育成
- ・応募前企業ガイダンスの開催
- ・企業ガイドブックにより県内就職のメリット、県内企業の魅力を発信
- ・各学校単位での企業説明会の開催により就職活動を支援

<令和６年度実績>

- ・応募前企業ガイダンス

期 間：令和６年５月～６月

開催回数：和歌山市、伊都、紀中、紀南の各地区において年１回開催

参加企業数：のべ４４３回

参加生徒数：１，３９２人

- ・各学校単位での企業説明会の開催回数：３５回

⑤わかやまU I ターン就職促進（76,898千円）

和歌山での就職を支援する拠点を設置し、県内外から産業人材を呼び込むため、大学生・第二新卒者・既卒未就業者、転職希望者等の県内就職を促進。

○県内就職を支援する拠点「わかやま就職支援センター（通称：はたらコーデわかやま）」の運営

- ・専門相談員による相談対応・就職支援
- ・各種セミナーの開催
- ・インターンシップ（転職希望者向け・学生向け）の実施
- ・ウェブサイト・SNS等による県内企業の魅力発信
- ・就職支援協定大学等と連携した就職イベントの開催

<令和6年度実績>

わかやま就職支援センター総利用者数：2,174件

就職支援協定大学等と連携した就職イベントの開催：5件

○U I ターン就職促進イベントの開催

県内外でのマッチングイベント、大学・専門学校と県内企業の交流会、企業採用力向上セミナーを開催

<令和6年度実績>

県内外でのマッチングイベント開催回数：3回

大学・専門学校と県内企業の交流会開催回数：1回

企業採用力向上セミナー開催回数：3回

○就職関連情報の発信

- ・和歌山で就職する魅力や県内企業の新卒採用情報をまとめた「U I わかやま就職ガイド」を作成し、県内外の学生に広く情報を提供
- ・ウェブサイト・スマホアプリ・SNSにより、県内企業の採用情報や就職関連情報等を発信

○中小企業の採用ブランド構築支援

県内の中小企業の採用力強化（採用ブランドの構築）を伴走支援

<令和6年度実績>

キックオフセミナー・ワークショップ開催回数：3回

伴走支援企業数：6社

○マッチング支援

ウェブサイト「はたらコーデわかやま」と全国規模の求人検索サイトとの連携を行い、U I ターン就職希望者と県内企業のマッチングを支援

<令和6年度実績>

マッチングサイト掲載求人数：213件（令和7年3月の掲載数）

⑥技能向上対策（４４，３００千円）

技能労働者の技能資質及び社会的経済的地位の向上を図るため、職業訓練の振興と技能検定を実施。

⑦産業技術専門学院運営（３４，６１３千円）

職業能力開発促進法に基づく公共職業能力開発施設である県立産業技術専門学院において職業に必要な技能や知識の習得を目的に職業訓練を実施。

＜令和６年度実績＞

職業訓練修了者数：７９人

⑧きのくにＩＣＴ教育（ステップアッププログラム）（２，９７７千円）

ＩＣＴ人材の育成を強化するため、中学校・高校でＩＣＴ関連の活動に取り組む部活動に対して、ＩＣＴ関連企業等の専門家を外部指導者として派遣。

○きのくにＩＣＴ教育部活動等への指導者派遣

部活動にＩＴ企業等の外部講師を派遣して指導することで、ＩＣＴ人材の裾野拡大とともに、学生と企業の接点を作り、将来的な県内企業への就職を促進

＜令和６年度実績＞

講師派遣校数：８校 延べ６８回

⑨伝統工芸品リバイバル支援（１，７５５千円）

伝統工芸品産業の振興を図るため、伝統技術・技法の継承や販路開拓及び総合的な情報発信を支援。

○伝統工芸後継者育成支援事業

- ・後継者を育成する事業者等に対して、対象事業費の一部を補助（定額）
- ・補助する額：上限月額５万円・１２か月

＜令和６年度実績＞

交付確定件数：１件（保田紙後継者２人）

○展示販売会への出展

＜令和６年度実績＞

「進化する伝統『暮らしを彩る匠の技』」

期 間：令和６年７月１７日～２２日

場 所：阪急梅田店

出展事業者数：１者

⑩わかやまデジタル革命推進プロジェクト（73,354千円）＜再掲＞

⑪中小企業団体支援（106,806千円）＜再掲＞

⑫わかやま地域活性化雇用創造プロジェクト（24,233千円）＜再掲＞

（5）資金供給の円滑化

①中小企業融資制度実施（62,108,198千円）

県内中小企業者の経営の安定化と事業の活性化を図るため、事業活動に必要な資金を金融機関と協調して融資。

○令和6年度の主な改正点

- ・適正な価格転嫁に取り組む事業者を支援し、サプライチェーン全体の取引適正化を促進するため、「成長サポート資金（チャレンジ応援枠）」の融資対象にパートナーシップ構築宣言を登録・公表した者を追加
- ・新型コロナウイルス感染症等の影響を受けた事業者が金融機関の伴走支援を受けながら経営改善等に取り組む場合に活用できる「経営支援資金（伴走支援枠）」の取扱期間を延長
- ・グリーン投資及び環境保全を一体的に推進するため、安全・安心推進資金（エネルギー政策推進枠）と振興対策資金（環境保全枠）を統合し、「安全・安心推進資金（グリーン推進枠）」に再編・拡充

＜令和6年度実績＞

新規融資： 2,594件 343億4,687万円

融資残高：19,008件 1,888億1,713万円

（令和7年3月末現在）

②信用補完制度実施（144,264千円）

中小企業の金融の円滑化のため、信用保証料の軽減及び代位弁済に係る損失補償を実施。また、経営支援資金新型コロナウイルス感染症対応枠の条件変更に伴う追加保証料を補助し、事業者の返済負担を軽減。

○和歌山県経営支援資金新型コロナウイルス感染症対応枠（ゼロゼロ融資）を利用した事業者の返済負担を軽減するため、返済猶予等の条件変更を行う場合に必要となる追加保証料の補助を実施

＜令和6年度実績＞

交付実績件数：298件

(6) 知的財産の活用及び産学官連携

知的財産戦略（１６，８１１千円）

中小企業者等の知的財産戦略の意識高揚を図り、高付加価値商品を生み出す技術、デザイン等の知的財産活用、国の研究開発助成等に係る県内企業の提案応募を支援。

○専門人材配置による知的財産活用等支援

- ・新事業支援コーディネーター
- ・科学技術コーディネーター

<令和６年度実績>

コーディネーター数：各１人

○知的財産経営戦略支援

知的財産の基礎から実務までをカバーするセミナーの実施及び知的財産への関心を高めるための普及啓発活動の展開

<令和６年度実績>

セミナーの開催回数：２回

(7) 国際的視点に立った事業展開の促進

①国際経済交流支援（３，４９９千円）

本県経済の国際化を推進するため、県内企業の貿易、投資相談等海外市場進出を支援。

○和歌山国際経済サポートデスク

- ・（公財）わかやま産業振興財団に相談員を配置
- ・日本貿易振興機構（ジェトロ）和歌山貿易情報センターとの連携のもと、ジェトロの有するデータベースやサービスを活用し、貿易アドバイス等を実施
- ・貿易実務講座、海外ビジネスセミナー等の開催及び運営支援

<令和６年度実績>

窓口相談：３４件

②ジェトロ和歌山貿易情報センター運営（１６，０００千円）<再掲>

(8) 中小企業者の事業活動の振興に資する企業誘致の促進

①企業立地促進対策助成（４２５，６１６千円）

新規に立地した誘致企業や新たに施設を増設した県内企業に対する優遇措置を実施。

○本県産業の振興及び雇用の安定拡大に資するため、県内に立地する企業と協定を締結し、操業１年後の実績に応じて奨励金を助成
＜令和６年度実績＞
協定締結数：９件

②企業誘致活動（９，４１０千円）

企業訪問等の情報収集活動及び県と市町村等で構成する企業立地連絡協議会活動等を実施。

＜令和６年度実績＞
企業訪問数：９４３件（うちＷｅｂ８９件）

③企業誘致広報（８，３３０千円）

様々な広告媒体を活用して本県の企業立地環境の広報を実施。

④あやの台北部用地開発（１，２８５，８２７千円）

橋本市、南海電気鉄道株式会社及び県で共同開発する大規模用地（あやの台北部用地）の造成工事等について、事業主体の橋本市を支援。

(9) 農商工連携及び６次産業化並びに医療福祉分野等との連携の促進

①わかやまデジタル革命推進プロジェクト（７３，３５４千円）＜再掲＞

②脱炭素経営モデル推進支援（６，４８９千円）＜再掲＞

③わかやま農商工連携ファンド（５７，０００千円程度※）＜再掲＞

※わかやま中小企業元気ファンドと一体運用

④わかやま地域活性化雇用創造プロジェクト（２４，２３３千円）＜再掲＞

(10) まちの賑わいにつながる商業振興の促進

商店街振興組合等指導（４５６千円）

県中小企業団体中央会が行う商店街振興組合等指導事業を支援。

○県商店街振興組合連合会が行う県内各地における講習会、各種支援策等の周知広報活動、県内商店街に関する現況調査を支援

(11) 中小企業者の製品や技術等に関する情報の発信

県広報紙・情報誌（県民の友、和－n a g o m i－）や県広報番組（きのくに21）等を活用した情報発信。

(12) その他

①事業承継に係る取組の実施

○県事業承継ネットワーク構成員と連携して、県事業承継・引継ぎ支援センターの周知広報に努め、事業承継に取り組む事業者の掘り起こしを強化

②中小企業の賃上げに向けた価格転嫁対策の強化に向けた取組の実施

○県内企業に対して価格転嫁状況等を聴取し、県内の状況を把握するとともに、政府等に対して提言・提案等を通じての価格転嫁が進むよう取組を要請

③下請等中小企業の取引適正化による企業の健全な成長の推進

○下請等中小企業における取引条件の改善を図るため、経済産業省と連携し、取引実態の把握や商慣行の是正・取引適正化に向けた取組を実施

④わかやま企業応援ナビによる施策の利活用推進

○県内中小企業が国や県等の支援策、各種相談窓口をより活用しやすくするため、A I 機能等新たな機能の追加や検索機能の充実等のリニューアルをしたウェブサイト「わかやま企業応援ナビ」を使用した企業訪問活動を、県内金融機関や関係団体等と連携して実施